



取扱説明書

目次

1. Windows XP SP2／インターネットセキュリティ関連ソフトをお使いの方へ	3
1.1. Windows XP SP2 の「ファイアウォール機能」の設定方法	3
2. インストールと認証	7
2.1. QuickWebAudio Pro のインストール	7
2.2. アクティベート—無料モードから有料モードへ—	11
3. QuickWebAudio Pro の使い方—基本編—	16
3.1. ステップ0 マイクを用意しよう！	16
3.2. ステップ1 音声を録音しよう！	17
3.2.1. 再生音量の設定	17
3.2.2. 録音の設定	20
3.2.3. 録音する	23
3.3. ステップ2 ボタンを選ぼう！	25
3.4. ステップ3 作成&設置しよう！	28
3.4.1. オーディオ・ボタンを作成する	28
3.4.2. 生成された HTML コードを Web ページに「コピー&貼り付け」する	29
3.4.3. 保存したオーディオ・ボタンを Web サーバへ FTP 転送する	31
3.5. ステップ∞ お疲れ様でした！	35
4. 応用編1—録音ファイルの再利用—	36
4.1. 録音内容をファイル(QWA 形式)に保存する	36
4.2. 録音ファイル(QWA 形式)を読み込んで利用する	37
5. 応用編2—MP3 ファイルの利用—	40
6. 応用編3—お客様の声を集める—	42
7. 応用編4—ブログでの利用／外部サイトの利用—	43
7.1. URL 直接指定オプション	43
7.2. ブログでの利用例	45

(ご注意)本書では、ファイル名に拡張子(.exe、.html など)を付けて表記しています。お使いのパソコンの設定によっては、拡張子が表示されませんので、拡張子を除いたファイル名に読み替えてください。

1. Windows XP SP2／インターネットセキュリティ関連 ソフトをお使いの方へ

Windows XP SP2 に標準搭載されている「ファイアウォール機能」や、各種インターネットセキュリティ関連ソフトの「ファイアウォール機能」によって、QuickWebAudio Pro のインターネットを利用した通信が制限される場合があります。

QuickWebAudio Pro のインターネットを利用した通信は、「バージョン・チェック」、「ボタン・アップデート」、「サーバへ転送」の3つの機能で利用されています。

インターネットに接続されているにもかかわらず、これら3つの機能が正常に動作しない場合は、「ファイアウォール機能」によって通信を制限されていることが原因と考えられます。

Windows XP SP2 の「ファイアウォール機能」については、下記の手順で一時的に「ファイアウォール機能」を無効に設定して、QuickWebAudio Pro のこれら3つの機能をご利用くださいますよう、お願いします。

また、各種インターネットセキュリティ関連ソフトの「ファイアウォール機能」については、それらソフトウェアの取扱説明書等をご覧の上、「ファイアウォール機能」を一時的に無効にするか、QuickWebAudio Pro の FTP(ファイル転送)による通信を許可する設定にしてください。

1.1. Windows XP SP2 の「ファイアウォール機能」の設定方法

「スタートメニュー」内の「コントロールパネル」をクリックします。図 1 のような画面が開くので、「セキュリティセンター」をクリックします。

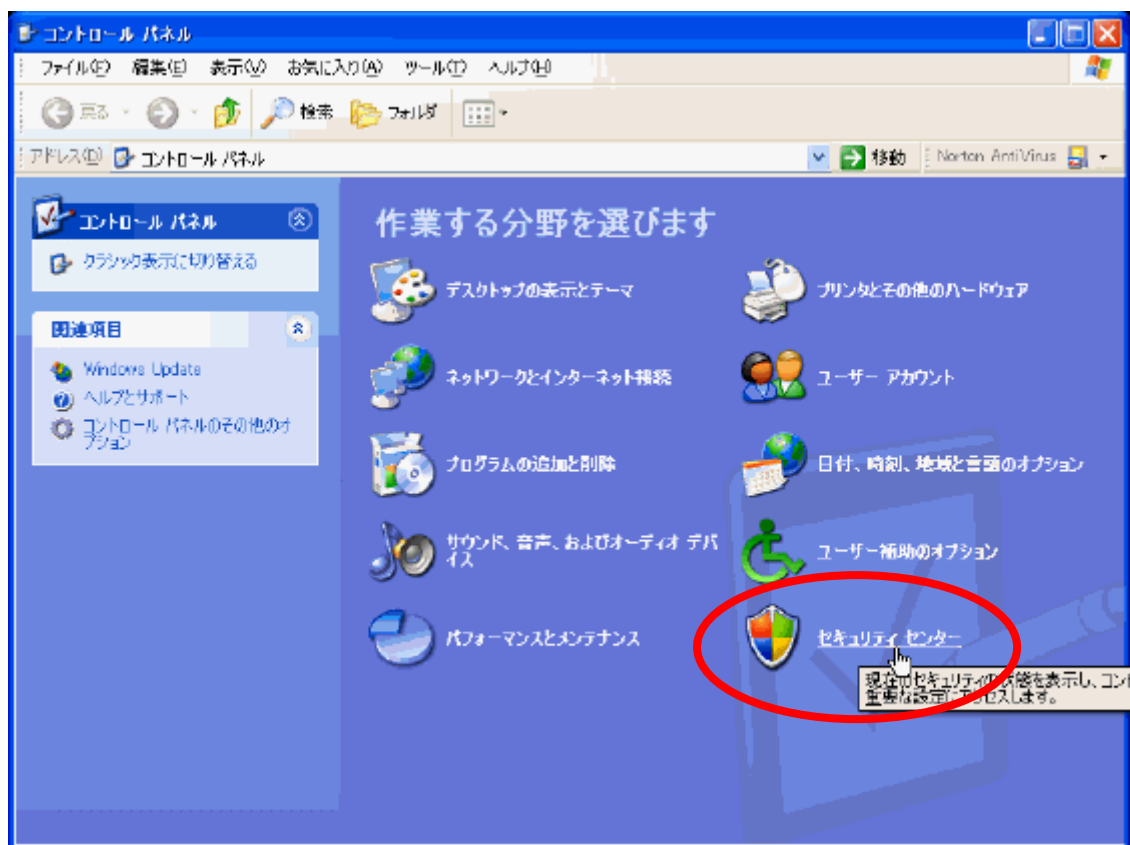


図 1

図 2のような画面が開くので、「Windows ファイアウォール」をクリックします。

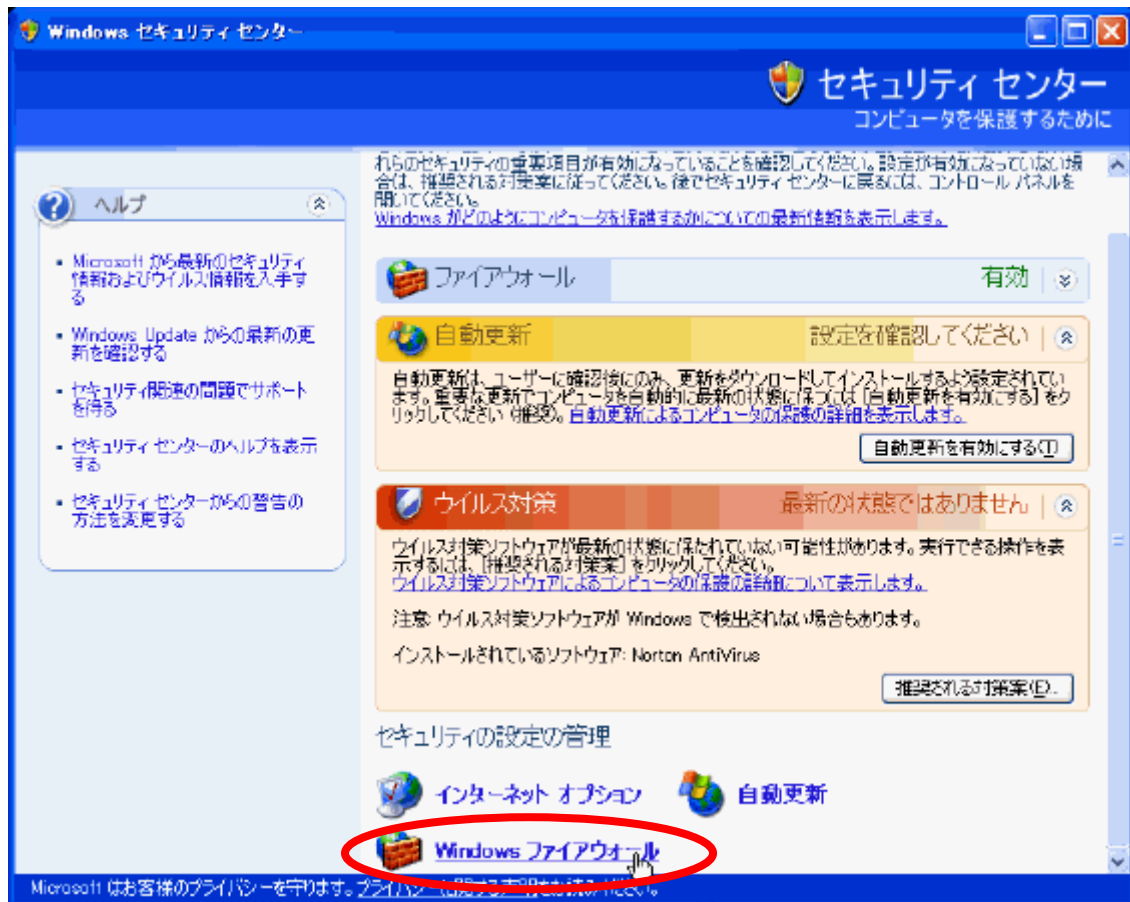


図 2

図 3のような画面が開くので、「無効」にチェックを入れて、「OK」をクリックします。

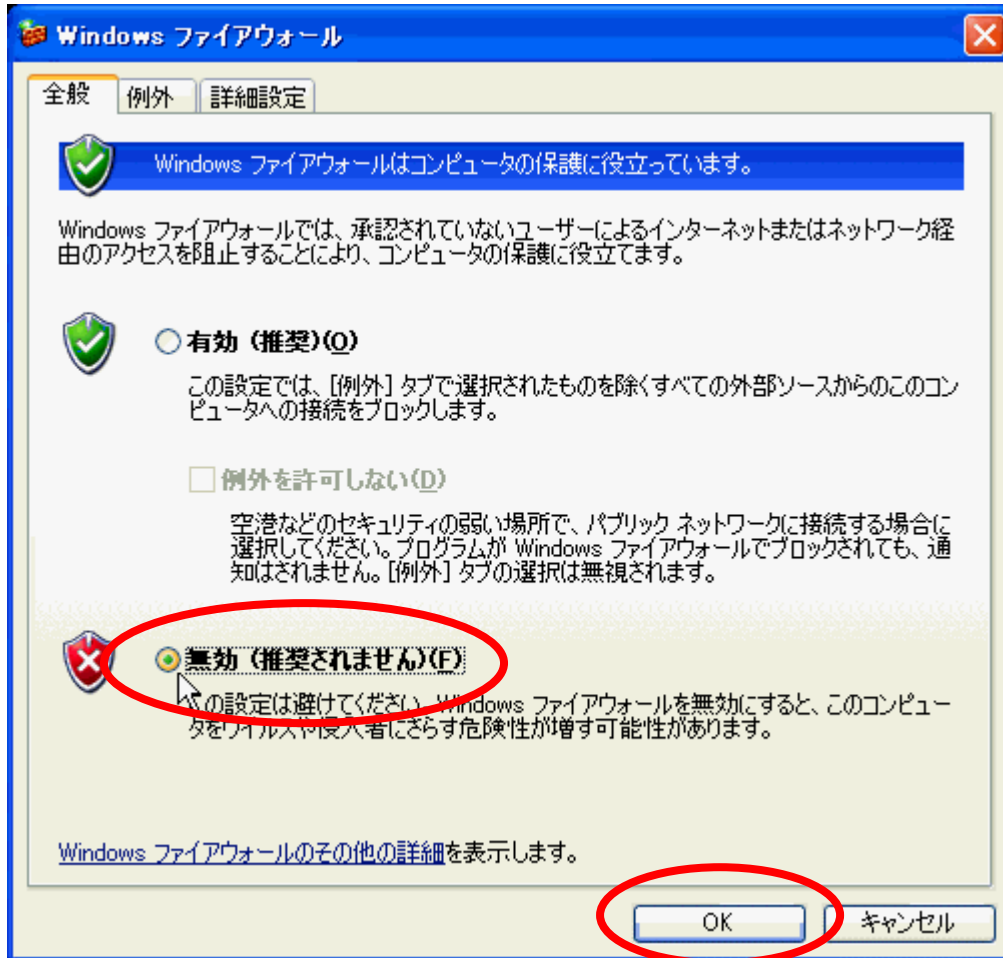


図 3

以上で、Windows XP SP2 の「ファイアウォール機能」を無効にすることができ、QuickWebAudio Pro の「バージョン・チェック」、「ボタン・アップデート」、「サーバへ転送」の3つの機能が利用できるはずです。利用できない場合は、他のインターネットセキュリティ関連ソフトの「ファイアウォール機能」が働いている可能性がありますので、各ソフトウェアの取扱説明書等でご確認ください。

QuickWebAudio Pro のご利用が終わりましたら、安全のため「ファイアウォール機能」を「有効」に設定してください。手順は上記と同様で、図 3の画面において「有効」にチェックを入れて、「OK」をクリックします。

2. インストールと認証

2.1. QuickWebAudio Pro のインストール

ダウンロードした「QuickWebAudio2Setup.exe」ファイル(図 4)を開くと、図 5のような画面が表示されます。



図 4

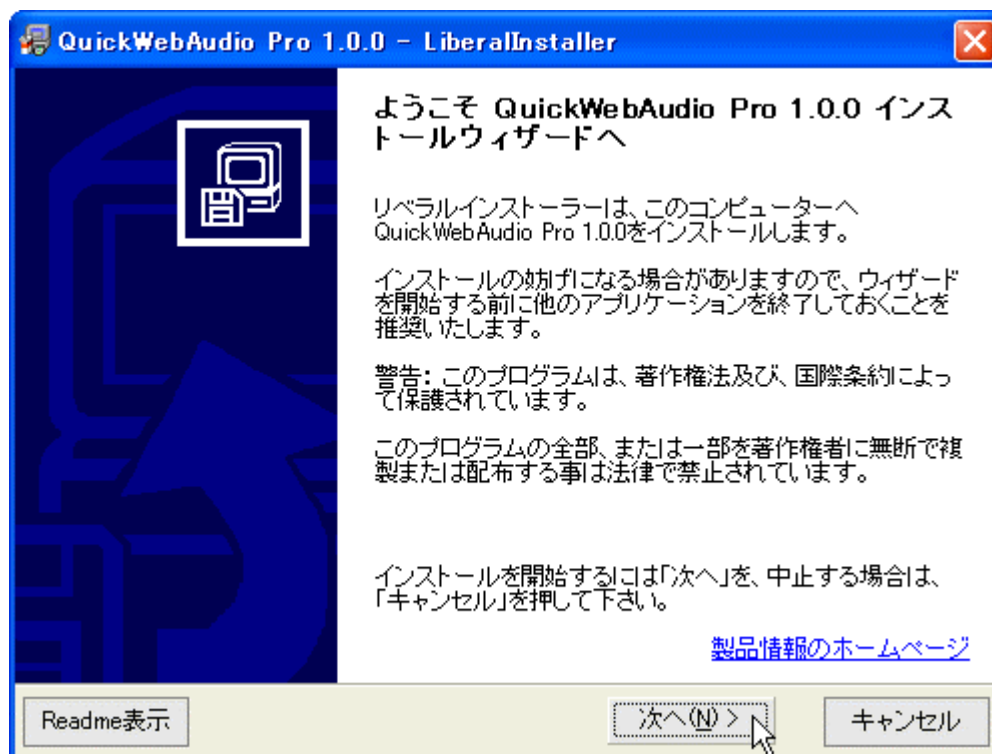


図 5

図 5以降、画面の指示に従ってください。図 6～図 10のように進んでいきます。

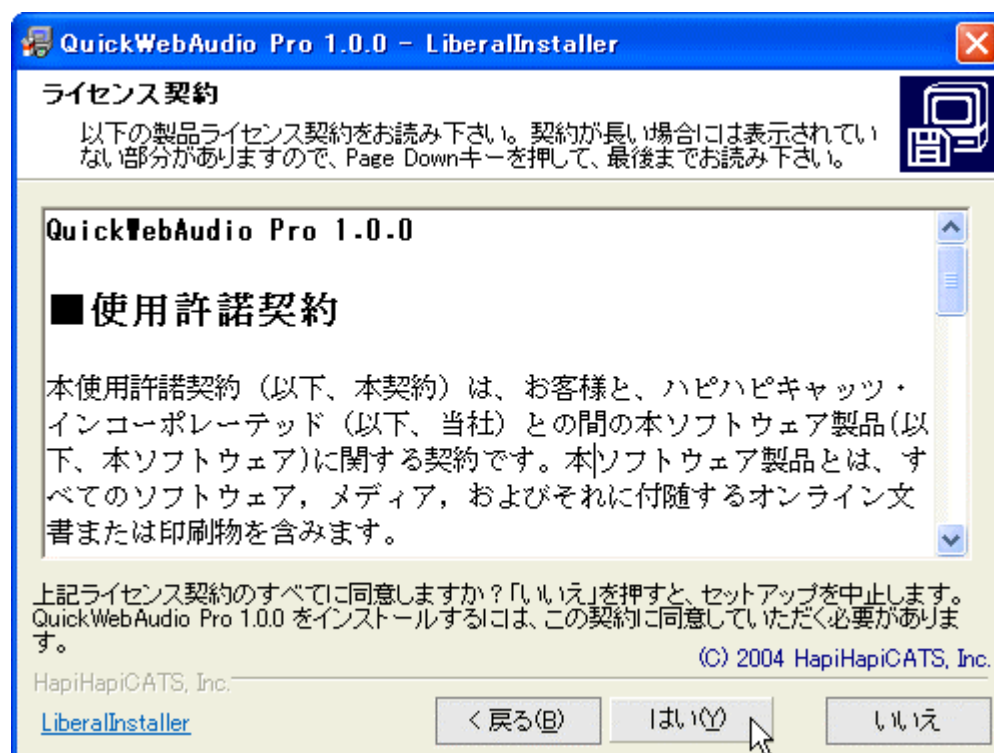


図 6

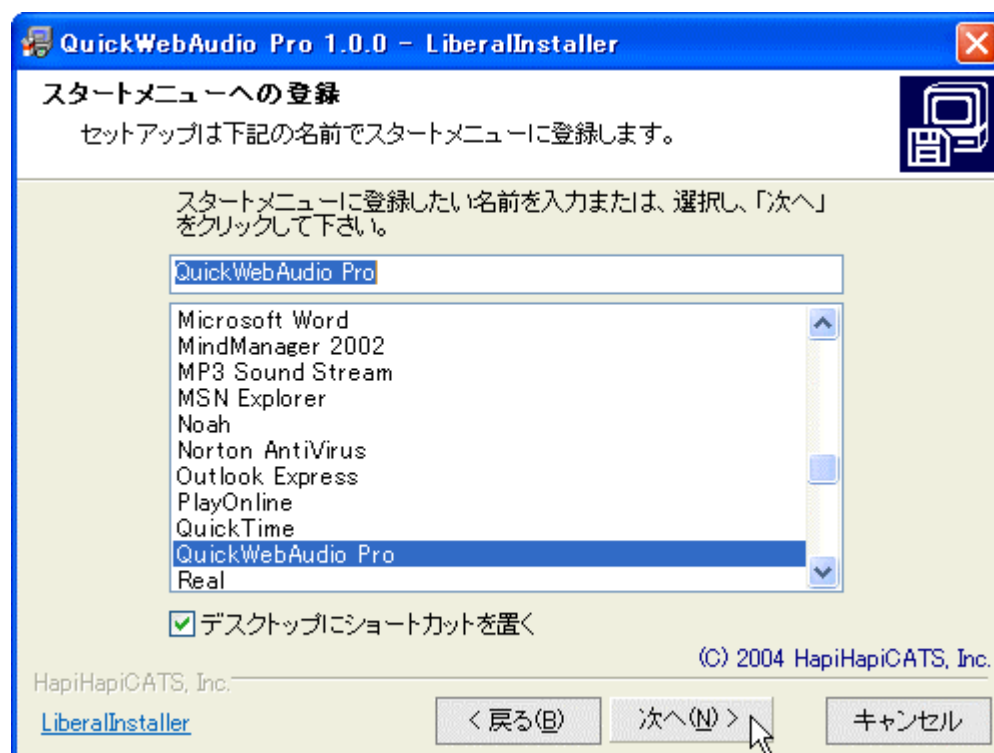


図 7

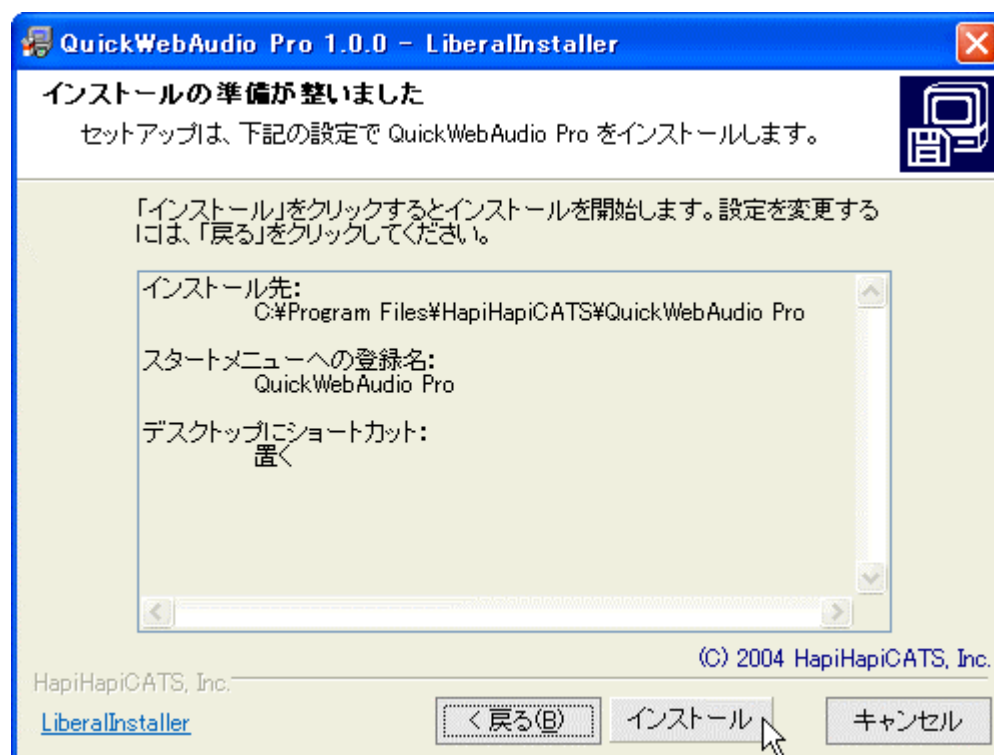


図 8

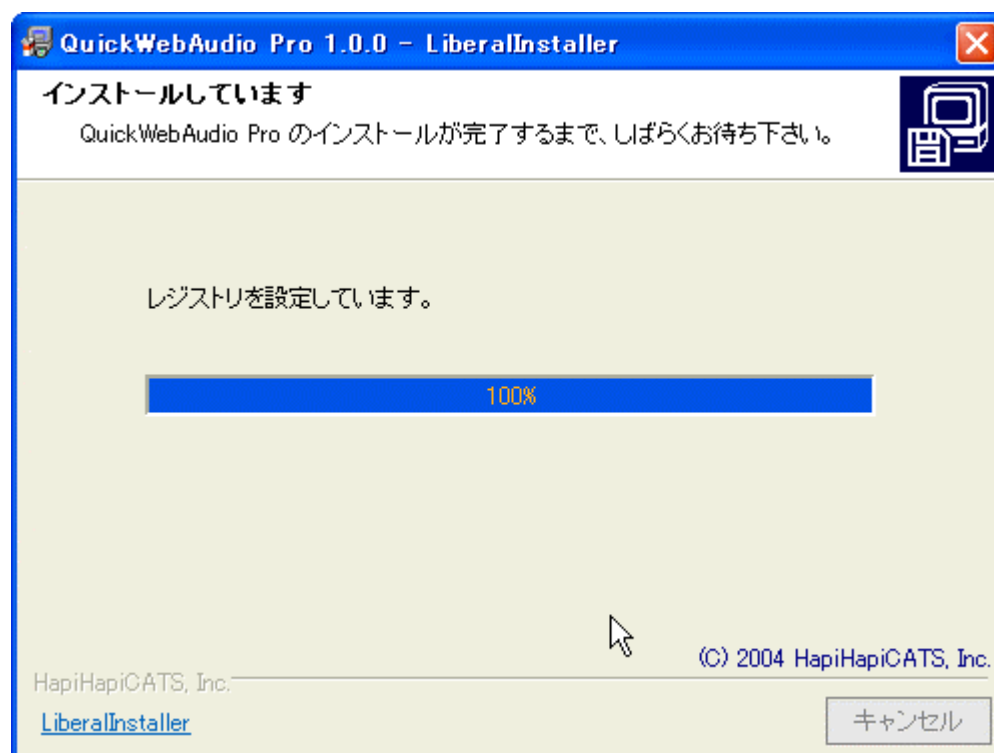


図 9

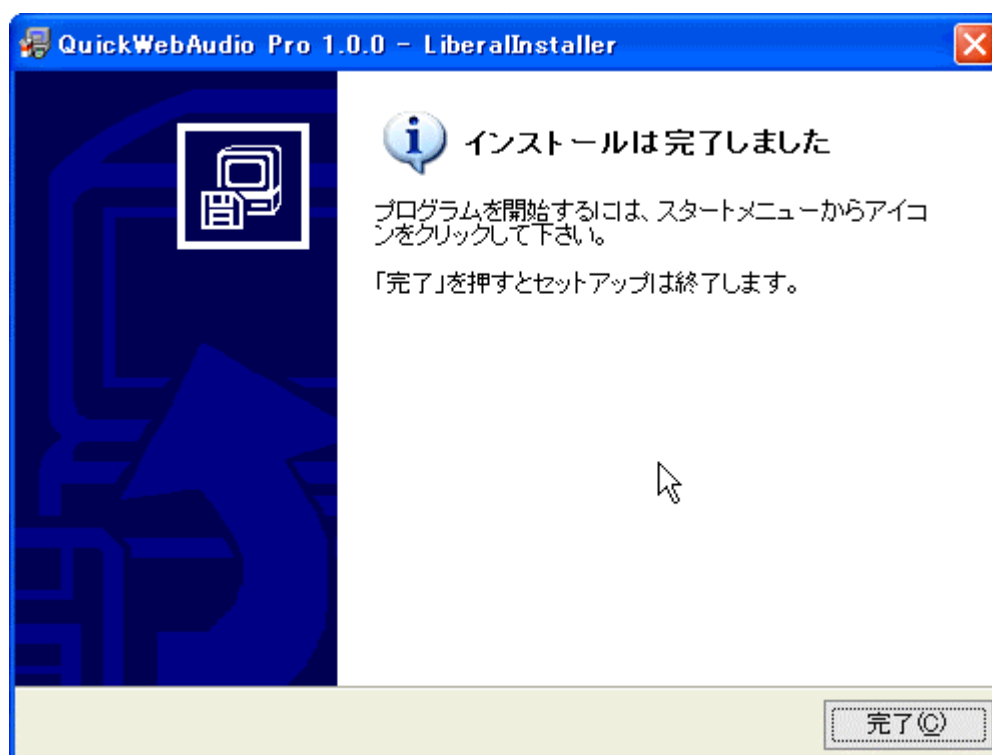


図 10

以上でインストールが完了しました。

図 7で「デスクトップにショートカットを置く」にチェックを入れていた場合は、デスクトップに図 11のようなアイコンが置かれているはずです。



図 11

また、図 12のように、スタートメニューの「すべてのプログラム」の中にも、登録されています。



図 12

これらを用いて QuickWebAudio Pro を起動することができます。

2.2. アクティベート—無料モードから有料モードへ—

QuickWebAudio Pro には、「無料モード」と「有料モード」があります。「アクティベート」することによって「有料モード」にすると、図 13 のようにオーディオ・ボタンの種類が増えるとともに、オーディオ・ボタン下部の“Powered by QuickWebAudio”の文字が消えます。

また、「有料モード」のオーディオ・ボタンは、随時追加されていく予定です。

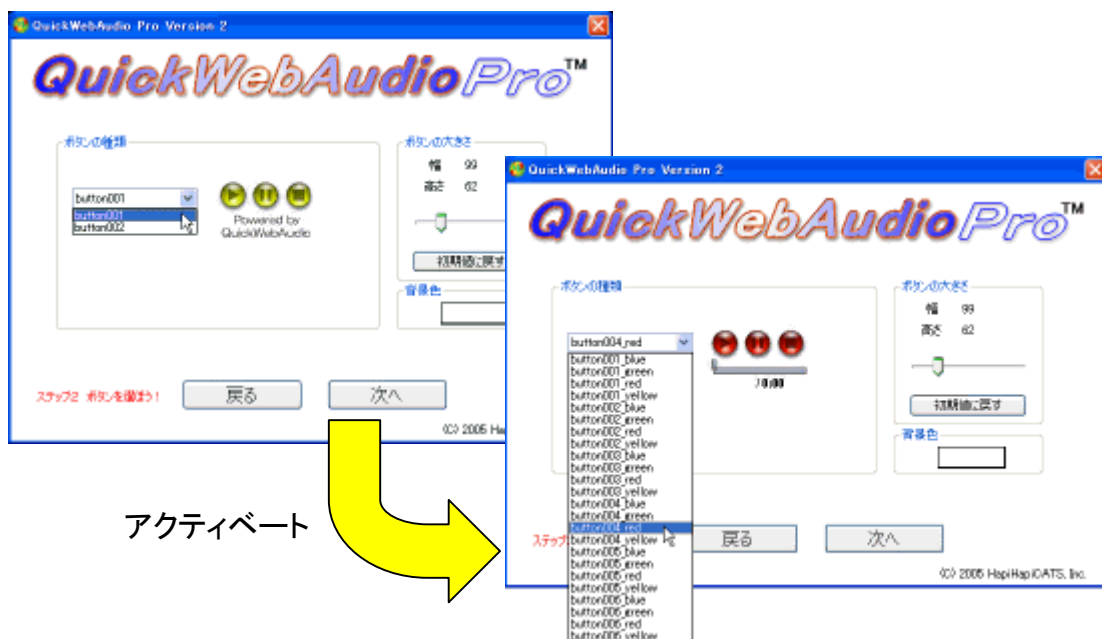


図 13

「無料モード」のままご利用される方は、次章以降に進んで、QuickWebAudio Pro の使い方について学んでください。

QuickWebAudio Pro 有料版をご購入された方は、メールで届いた「認証コード」を手元に用意して、下記の手順で「アクティベート」を行って「有料モード」にしてください。

QuickWebAudio Pro を起動して、「アクティベート」ボタンをクリックします(図 14)。



図 14

図 15のようなウィンドウが開くので、メールで送られた「メールアドレス」と「認証コード」をそれぞれの欄に記入し、「認証」ボタンをクリックします。



図 15

認証が正常に済むと、図 16のようなウィンドウが表示されるので、「OK」をクリックします。認証が出来ない場合は、記入された「メールアドレス」や「認証コード」に間違いがないか、よく確認してください。特に、半角と全角（すべて半角文字で記入）、大文字と小文字（メールに書かれた通りに記入）、数字のゼロ“0”とアルファベットのオー“O”、などの間違いに気をつけてください。

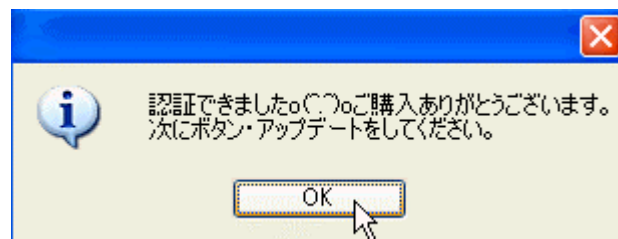


図 16

認証後、「有料モード」になり、図 17のように「ボタン・アップデート」ボタンがクリックできるようになります。この「ボタン・アップデート」ボタンをクリックすることで、最新の有料版オーディオ・ボタンに更新することができます。



図 17

「ボタン・アップデート」ボタンをクリックすると、図 18のような画面になります。この間、QuickWebAudio Pro のサーバーから、最新のオーディオ・ボタンをダウンロードしていますので、終了するまでお待ちください。

終了すると、図 19のようなウィンドウが表示されるので、「OK」をクリックします。いったん、QuickWebAudio Pro を終了し、再度 QuickWebAudio Pro を起動すると、オーディオ・ボタンが更新されています。

「ボタン・アップデート」が正常に終了しない場合は、第1章をご覧ください。



図 18



図 19

3. QuickWebAudio Pro の使い方—基本編—

3.1. ステップ0 マイクを用意しよう！

まずは、録音のためにマイクを用意する必要があります。既にマイクをお使いの方は、ステップ1へ進んでください。

マイクについてよく分からない方は、まずお使いのパソコンの取扱説明書を読んだり、メーカーのサポートに聞くなどして、下記の点を調べてください。また、ご購入前には、必ずお使いのパソコンで使えるかどうか、販売店やメーカーにてご確認ください。

(1) 内蔵マイクは付いていますか？

(はい) 音質にこだわらないのであれば、内蔵マイクを使用できます。使用方法はお使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。音質面で不満がある場合は、(2)へ進みます。

(いいえ) (2)へ進みます。

(2) マイク接続端子がありますか？

(はい) (3)へ進みます。

(いいえ) (4)へ進みます。

(3) サウンド機能について、「サウンドブラスター(SoundBlaster)」や「サウンドブラスター互換」ですか？ または、マイク接続端子が「マイク供給電源サポート」していますか？

(はい) 「マルチメディアヘッドセット」などの PC 接続用マイクを購入してください。

[おすすめ品はここをクリック](#) * 動作を保証するわけではありません。

(いいえ) (4)へ進みます。

(4) 「USB ヘッドセット」などの USB 接続マイクを購入してください。

[おすすめ品はここをクリック](#) * 動作を保証するわけではありません。

3.2. ステップ1 音声を録音しよう！

QuickWebAudio Proを起動すると、図 20のような画面が表示されます。「作成スタート！」ボタンをクリックしてください。



図 20

3.2.1. 再生音量の設定

[ここをクリックして QuickWebAudio Pro のホームページ](#)を表示し、ページ内のオーディオ・ボタンを再生して、音量を確認します。

適切な音量になるように、音量を調整してください。普段、音量を調整される方法で構いません。

また、QuickWebAudio Pro の「ボリュームコントロール」を使うこともできます。図 21のように、「ボリュームコントロール」内の「再生」ボタンをクリックしてください。



図 21

図 22のような「ボリュームコントロール」ウィンドウが開きます。

「ボリュームコントロール」は全体の音量を、「WAVE」は(CD などではなく)パソコンが再生する音楽の音量を調整できます。



図 22

「WAVE」項目などが表示されていない場合は、図 23のようにメニューの「オプション→プロパティ」を選びます。

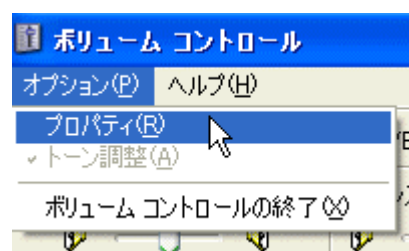


図 23

図 24のような「プロパティ」が表示されますので、必要な項目にチェックを付けてください。「OK」をクリックして、「ボリュームコントロール」画面に戻ると、チェックの付いた項目が出現しているはずです。

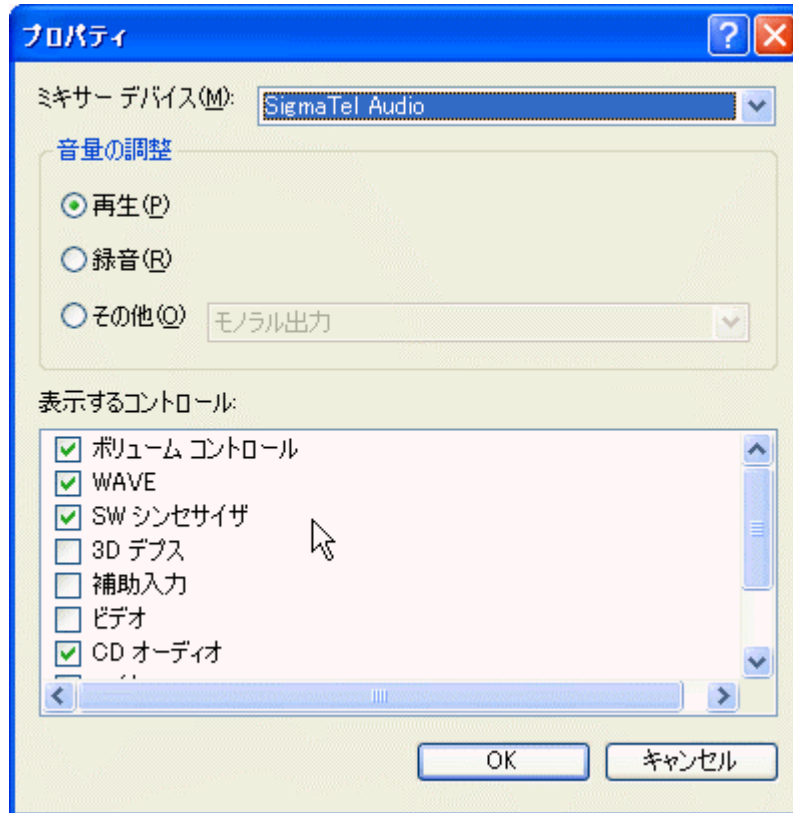


図 24

3.2.2. 録音の設定

既にマイクの録音設定が済んでいれば、ここを飛ばして「3.2.3録音する」へ進んでください。

そうでなければ、ここで録音の設定をします。図 25のように、「ボリュームコントロール」内の「録音」ボタンをクリックしてください。

図 26のような、「録音コントロール」が表示されます。

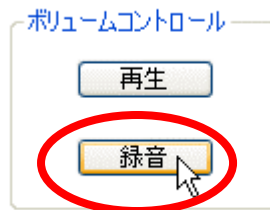


図 25

図 26のように、「録音コントロール」に「マイク」という項目があれば、その「選択」にチェックを入れます。

また、「3.2.3録音する」で録音後、再生して音量が適切でない場合は、この「マイク」項目の音量を調整します。



図 26

「マイク」項目が表示されていない場合は、図 27のようにメニューの「オプション→プロパティ」を選びます。

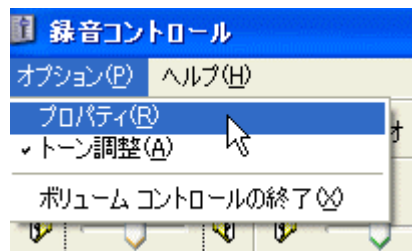


図 27

図 28のような「プロパティ」が表示されますので、「マイク」項目にチェックを付けてください。「OK」をクリックして、「ボリュームコントロール」画面に戻ると、チェックの付いた項目が出現しているはずです。

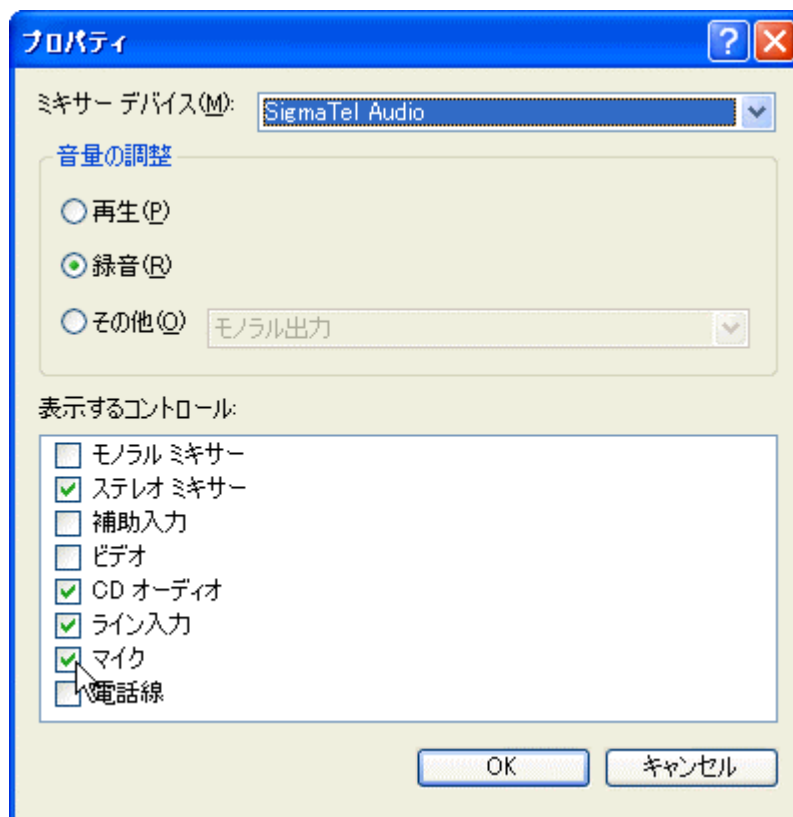


図 28

また、「マイク」の音量を最大にしても、小さな音量でしか録音できない場合は、「トーン調整」設定のし忘れなどが考えられます。これらの設定は、お使いのパソコンやマイク、サウンドカードなどの説明書をご参照ください。

3.2.3. 録音する

「録音」ボタン(図 29)をクリックすると、録音が始まります。時計の表示が進みます。



図 29

録音を停止するには、「停止」ボタン(図 30)をクリックします。

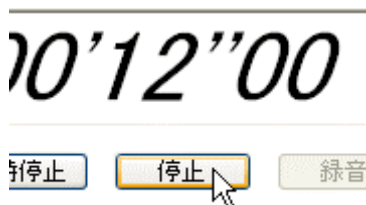


図 30

録音したものを再生して聞くには、「再生」ボタン(図 31)をクリックします。

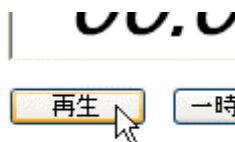


図 31

「3.2.1再生音量の設定」で再生音量を調整したうえで、ここで録音した音声の再生音量が小さかったり、大きかったりする場合は、「3.2.2録音の設定」に従って、録音の設定を調整してください。

また、「音量最適化」機能を使うことで、音量を自動的に調整することもできます。図 32の「音量最適化」ボタンをクリックし、処理が終了するのを待ちます。録音状態

によっては、音質が悪くなってしまう場合もありますので、その場合は「元に戻す」ボタンで元に戻してください。

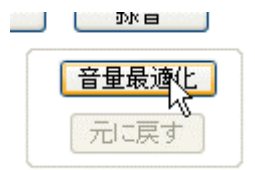


図 32

録音が終わったら、「次へ」ボタン(図 33)をクリックして、ステップ2へ進みます。



図 33

3.3. ステップ2 ボタンを選ぼう！

ステップ2では、好みのオーディオ・ボタンを選択します。

図 34のように、▼をクリックしてプルダウンメニューを表示し、オーディオ・ボタンのリストから好みのものを選択します。画面に表示されているオーディオ・ボタン画像が、選択したものに変わります。



図 34

オーディオ・ボタンの種類を選んだら、オーディオ・ボタンの大きさを設定します。初期状態で標準的な大きさに設定されていますので、必要に応じて大きさを調整してください。

オーディオ・ボタンの大きさの確認と調整は、図 35に示す部分で行います。大きさを調整するには、スライダーを左右に動かします。右へ動かすほど、大きくなります。

また、「初期値に戻す」ボタンをクリックすることで、最初の標準的な大きさに戻すことができます。

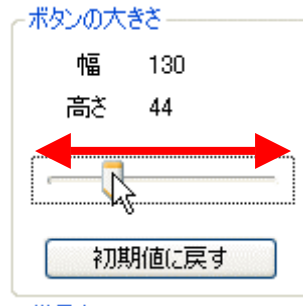


図 35

最後に、オーディオ・ボタンの背景部分の色を指定します。通常は、オーディオ・ボタンを設置する Web ページの背景色と同じにします。

初期状態では、図 36のように“白色”になっています。この部分をクリックすると、図 37のようなウィンドウが表示されます。

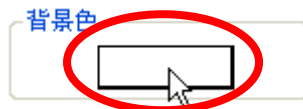


図 36

図 37のウィンドウで色を選択し、「OK」をクリックします。一覧の中にお好みの色がない場合は、「色の作成>>」ボタンをクリックして、色を選択してください。



図 37

色の選択ができると、図 38のように選択した色が表示されます。



図 38

以上の設定を終えたら、「次へ」を選択して、ステップ3へ進みます。

3.4. ステップ3 作成&設置しよう！

3.4.1. オーディオ・ボタンを作成する

まずは、これまでのステップで録音した内容と、選択したオーディオ・ボタンのデザインで、オーディオ・ボタンを作成します。

図 39で示すように、「ボタン作成」ボタンをクリックします。



図 39

すると、図 40のような画面が表示されます。

作成するオーディオ・ボタンのファイル名と保存先のフォルダを指定して、「保存」をクリックします。

このとき、ファイル名には、半角英数字とアンダースコア記号“_”のみを使用し、最後は“.swf”の4文字で終わるようにします。空白(スペース)文字は使用しないでくだ

さい。

また、保存先フォルダは、このオーディオ・ボタンを貼り付ける Web ページのフォルダと同じにします。（別フォルダを利用したい場合は、「7 応用編4—ブログでの利用／外部サイトの利用—」をご覧ください。）

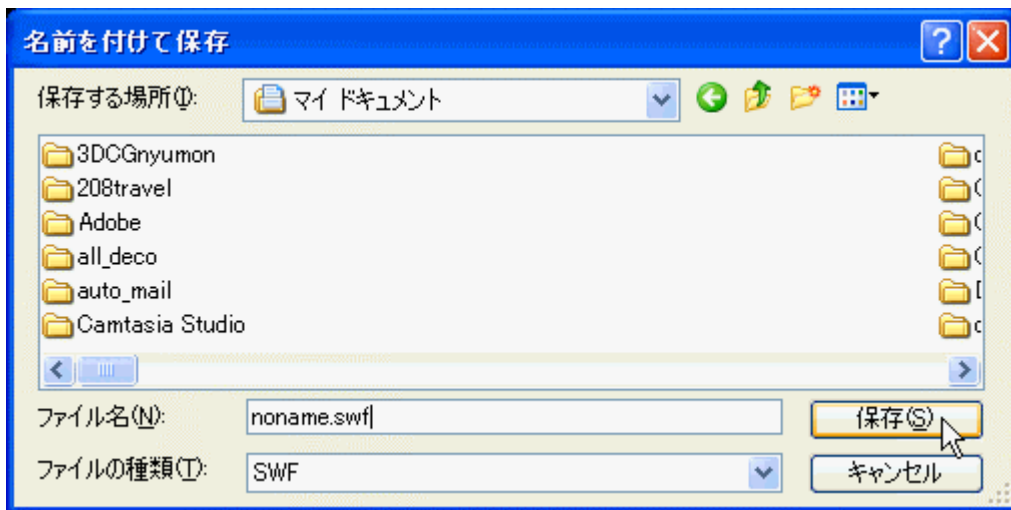


図 40

3.4.2. 生成された HTML コードを Web ページに「コピー＆貼り付け」する

オーディオ・ボタンを作成すると、自動的に HTML コードが、図 41のように生成されます。この HTML コードを Web ページに挿入すると、その部分に作成したオーディオ・ボタンが貼り付けられます。

「コピー」ボタン(図 41)をクリックすると、HTML コードが“コピー”されます。

お使いのホームページ作成ソフトで、オーディオ・ボタンを貼り付ける Web ページを開き、HTML 表示にします。そして、“貼り付け(ペースト)”によって Web ページの HTML に、オーディオ・ボタンの HTML コードを挿入します。(図 41)



コピー&貼り付け

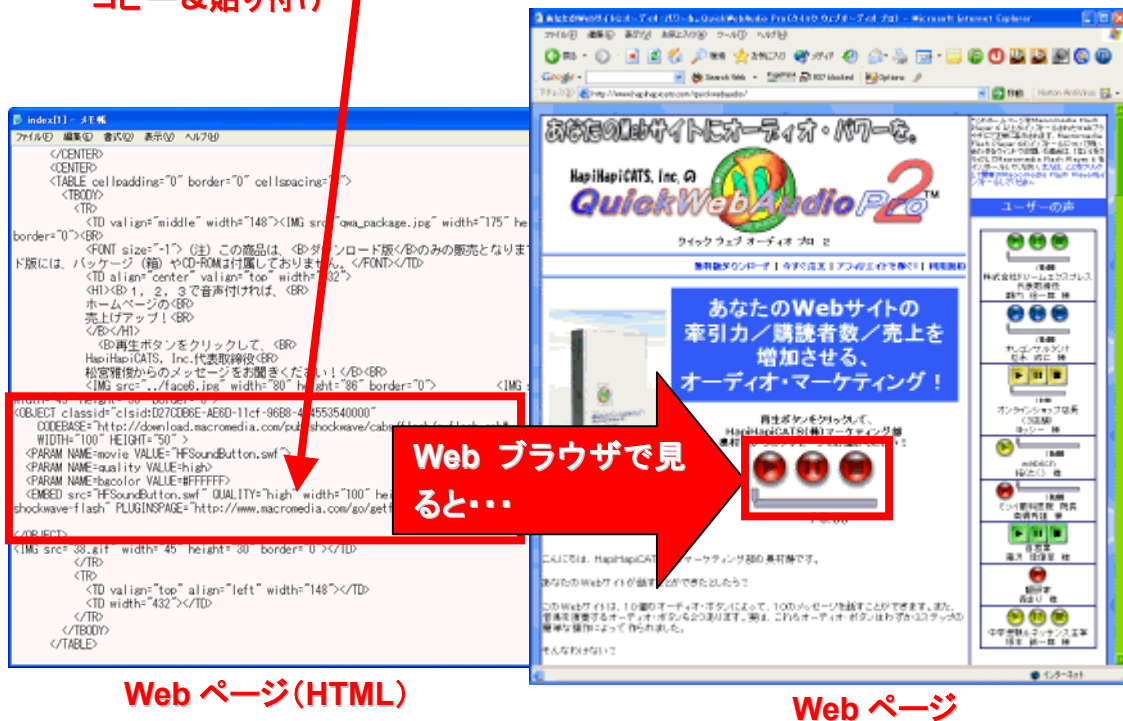


図 41

3.4.3. 保存したオーディオ・ボタンを Web サーバへ FTP 転送する

既に、普段お使いのファイル転送(FTP 転送)ソフトがあれば、それを使って作成したオーディオ・ボタンのファイルを Web サーバへ転送します。

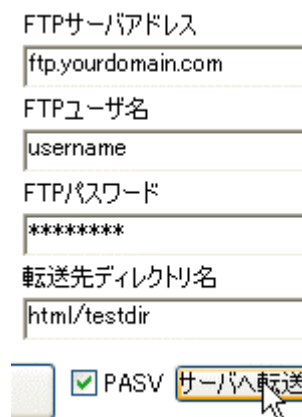
オーディオ・ボタンは次のようなファイルで構成されています。これら全てを同一フォルダ(ディレクトリ)に置く必要があります。

- **noname.swf** (ボタン作成時に指定したファイル名)
- **nonamev1s.xml**
- **nonamev1s.swf**(「5 応用編2—MP3 ファイルの利用—」で MP3 ファイルを利用する場合は、該当する MP3 ファイルになります)

また、ホームページ作成ソフトによっては、「ページの公開」などの Web ページ転送機能によって、自動的にオーディオ・ボタンのファイルが転送される場合もあります。

以上のように、別のソフトによってオーディオ・ボタンが転送できない場合は、QuickWebAudio Pro の「サーバへ転送」機能を使って、オーディオ・ボタンを Web サーバに転送します。

使い方は簡単で、Web サーバ(レンタルサーバやプロバイダ)の説明書などに書かれている「FTP」に関する情報を記入して、「サーバへ転送」ボタンをクリックするだけです。(図 42) 必要なファイルを自動的に転送します。



FTPサーバアドレス
ftp.yourdomain.com

FTPユーザ名
username

FTPパスワード

転送先ディレクトリ名
html/testdir

☒ PASV **サーバへ転送**

図 42

以下で、図 42に示す各項目を説明します。

FTP サーバアドレス

FTP サーバのアドレスを記入します。

(例) ftp.yourdomain.com

FTP ユーザ名

FTP 用のユーザ名を記入します。

(例) username

FTP パスワード

FTP 用のパスワードを記入します。

(例) password

転送先ディレクトリ名

オーディオ・ボタンのファイルを転送する Web サーバ上のディレクトリ(フォルダ)名です。オーディオ・ボタンを設置する Web ページの HTML ファイルと同じディレクトリを指定します。

(例) public_html/testdir (相対パス指定)

/www/htdocs/testdir (絶対パス指定)

PASV

チェックを入れると、Passive Mode(パッシブ・モード)で FTP 接続します。上

記の FTP サーバ情報に間違いがないにもかかわらず、転送に失敗する場合は、このチェックを ON/OFF すると良いでしょう。

以上を設定したら、「サーバへ転送」ボタンをクリックします。

すると、図 43のようなウィンドウが開き、FTP 転送の様子(サーバとの通信)が分かります。(内容は気にしなくても構いません。)

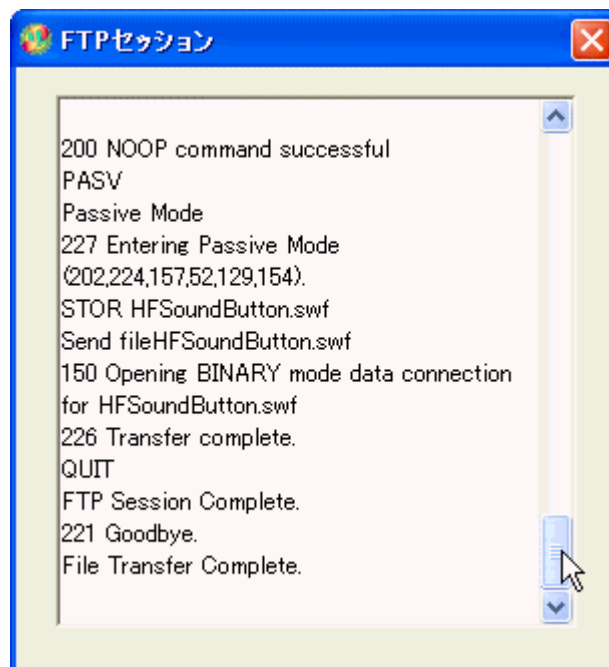


図 43

転送に成功すると、図 44のようなウィンドウが表示されます。

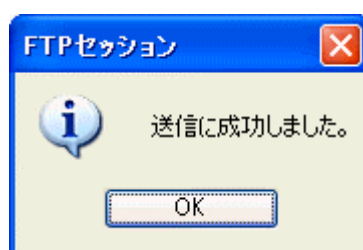


図 44

転送に失敗すると、図 45のようなウィンドウが表示されます。指示の通り、FTPに関する情報に間違いがないか確かめ、それでも失敗するなら、PASV のチェックを切り替えてみましょう。また、「1 Windows XP SP2／インターネットセキュリティ関連ソフトをお使いの方へ」も参考にしてください。

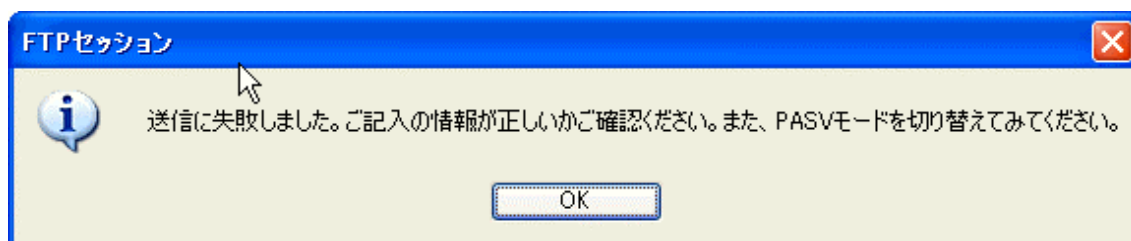


図 45

3.5. ステップ∞ お疲れ様でした！

以上で、オーディオ・ボタンを作成し、Web ページに貼り付けることができました。
Web ページを表示して、確かめてみましょう o(^.^)o
(* Web ページそのものは、ホームページ作成ソフトなどを使用して、Web サーバに
転送してください。)

最後に、「終了」ボタン(図 46)をクリックして、QuickWebAudio Pro を終了しま
す。



図 46

4. 応用編1—録音ファイルの再利用—

オーディオ・ボタンのファイルから音楽だけを取り出すことはできません。そのため、オーディオ・ボタンの録音内容を、そのまま別のデザインのオーディオ・ボタンに適用するような使い方には対応できません。

そこで、録音した内容だけを QuickWebAudio Pro 専用の録音ファイル形式である QWA 形式で保存しておき、後で別のデザインのオーディオ・ボタンとして作成する機能があります。

4.1. 録音内容をファイル(QWA 形式)に保存する

図 47の画面で録音した内容は、「QWA 形式で保存」ボタンをクリックすることで、ファイルに保存できます。「QWA 形式で保存」ボタンをクリックすると図 48のようなウィンドウが開きます。



図 47

図 48のウィンドウで、保存先のフォルダ名と、保存するファイル名を入力し、「保存」をクリックします。ファイル名の最後は“.qwa”の 4 文字で終わるようにします。

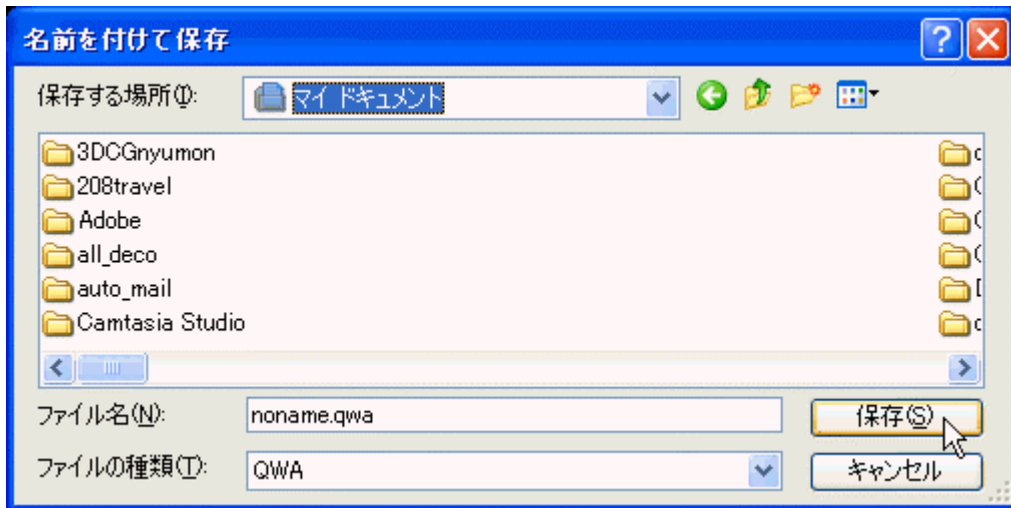


図 48

なお、QWA 形式のファイルに録音された内容を、直接再生することはできません。オーディオ・ボタンとして Web ページに貼り付けて、再生してください。

4.2. 録音ファイル(QWA 形式)を読み込んで利用する

QWA 形式のファイルを読み込んで、オーディオ・ボタンに利用します。まず、図 49の画面で、「既存のファイル(MP3またはQWA)を利用する」のラジオボタン(図の赤丸)をクリックしてチェックを入れます。次に、「開く」ボタンをクリックすると、図 50のようなウィンドウが開きます。



図 49

図 50のウィンドウで、利用したい QWA 形式の録音ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

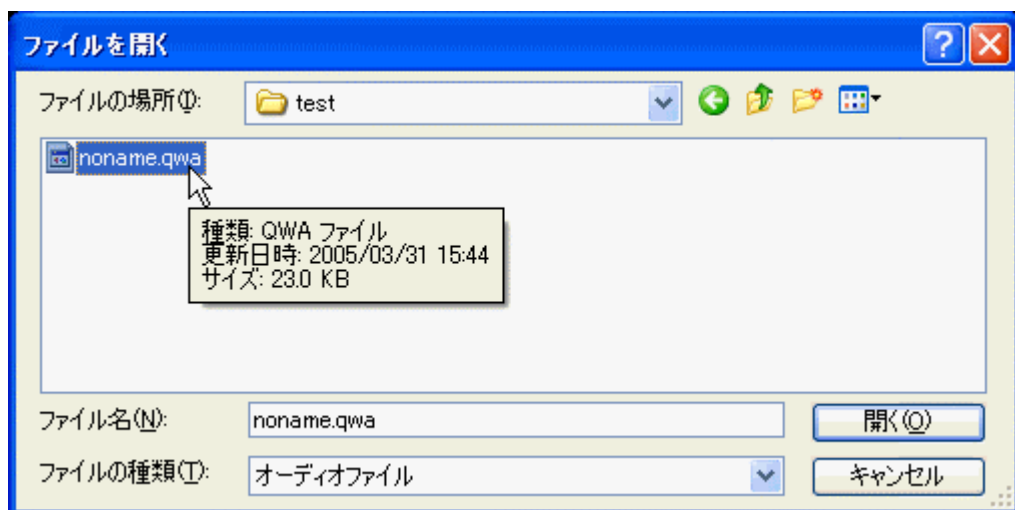


図 50

図 51のように、選択したファイルパス(ファイル名)が表示されたら、「次へ」をクリックして、次のステップへ進みます。以降の操作は、「3 QuickWebAudio Pro の使い方—基本編—」と同じです。

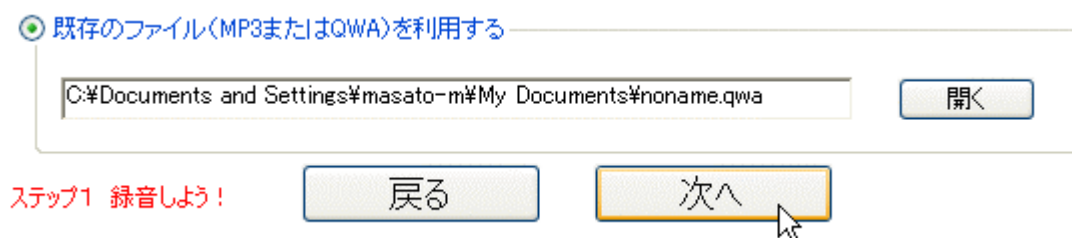


図 51

5. 応用編2—MP3 ファイルの利用—

MP3 形式のファイルを読み込んで、オーディオ・ボタンに利用します。まず、図 52 の画面で、「既存のファイル(MP3 または QWA)を利用する」のラジオボタン(図の赤丸)をクリックしてチェックを入れます。次に、「開く」ボタンをクリックすると、図 53 のようなウィンドウが開きます。



図 52

図 53 のウィンドウで、利用したい MP3 形式の録音ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

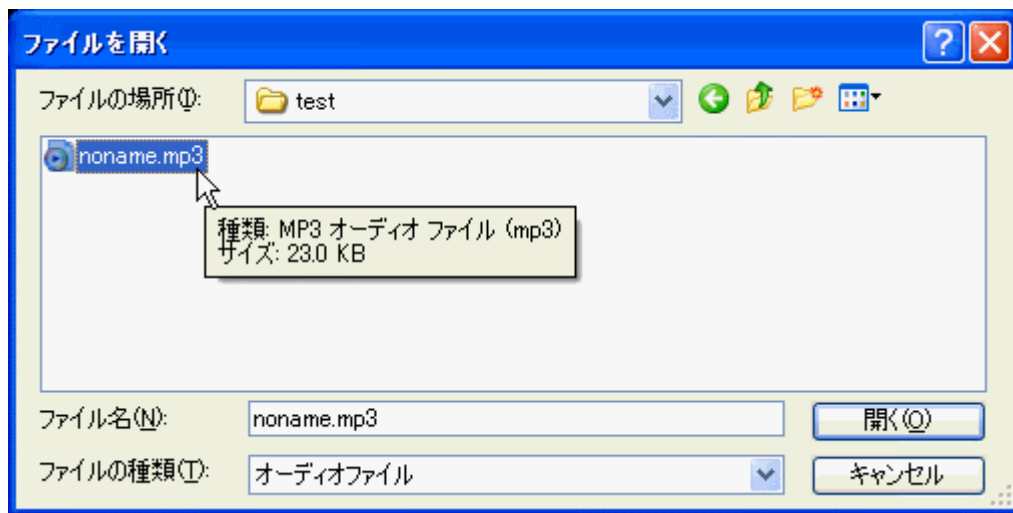


図 53

図 54のように、選択したファイルパス(ファイル名)が表示されたら、「次へ」をクリックして、次のステップへ進みます。以降の操作は、「3 QuickWebAudio Pro の使い方—基本編—」と同じです。

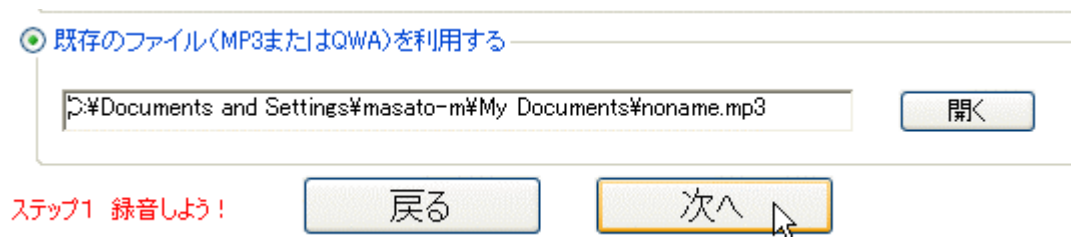


図 54

6. 応用編3—お客様の声を集める—

「4.1 録音内容をファイル(QWA 形式)に保存する」に従って、QWA 形式の録音ファイルをお客様に作成してもらい、それをメール添付等で送って頂くことで、お客様の声を集めることができます。

お店／Web 管理者

お客様

1) お客様に依頼



1. 無料版 **QuickWebAudio Pro™**
(クイック ウェブ オーディオ プロ)
をダウンロード & インストール
2. 無料版 **QuickWebAudio Pro™**
(クイック ウェブ オーディオ プロ)
で感想や推薦の言葉を録音して、
専用形式(QWA 形式)でファイル
に保存
3. ファイルをメールに添付して返信



2) オーディオ・ボタンの作
成！

7. 応用編4—ブログでの利用／外部サイトの利用—

通常は、オーディオ・ボタンを表示する Web ページ(例:index.html)と、オーディオ・ボタンを構成する3つのファイル(例:noname.swf、nonamev1s.swf、nonamev1s.xml)は、同じ Web サーバ上のフォルダ(ディレクトリ)に置きます。

ですが、ブログで利用する場合や、何らかの理由で、オーディオ・ボタンを表示する Web ページと、オーディオ・ボタンを構成するファイルを、別々のフォルダ(ディレクトリ)や、別々の Web サーバ上に置きたいことがあります(図 55)。



図 55

こういったときには、QuickWebAudio Pro の「URL 直接指定オプション」を利用します。

7.1. URL 直接指定オプション

「3.4 ステップ3 作成 & 設置しよう!」で「ボタン作成」を行う前に、次の手順で

「URL 直接指定」を行います。

まず、図 56に示すように、オーディオ・ボタンを構成する3つのファイルの置かれた(転送先)URL を記入し、「URL 直接指定(オプション)」にチェックを入れます。

図 55 の例では、オーディオ・ボタンを構成する3つのファイルは、www.siteBBB.com サイトの [audio](http://www.siteBBB.com/audio) フォルダ(ディレクトリ)に置かれて(転送されて)います。このフォルダ(ディレクトリ)を URL で表すと、<http://www.siteBBB.com/audio> となります。

この場合、図 56のように <http://www.siteBBB.com/audio> と記入します(赤色の下線部部分)。

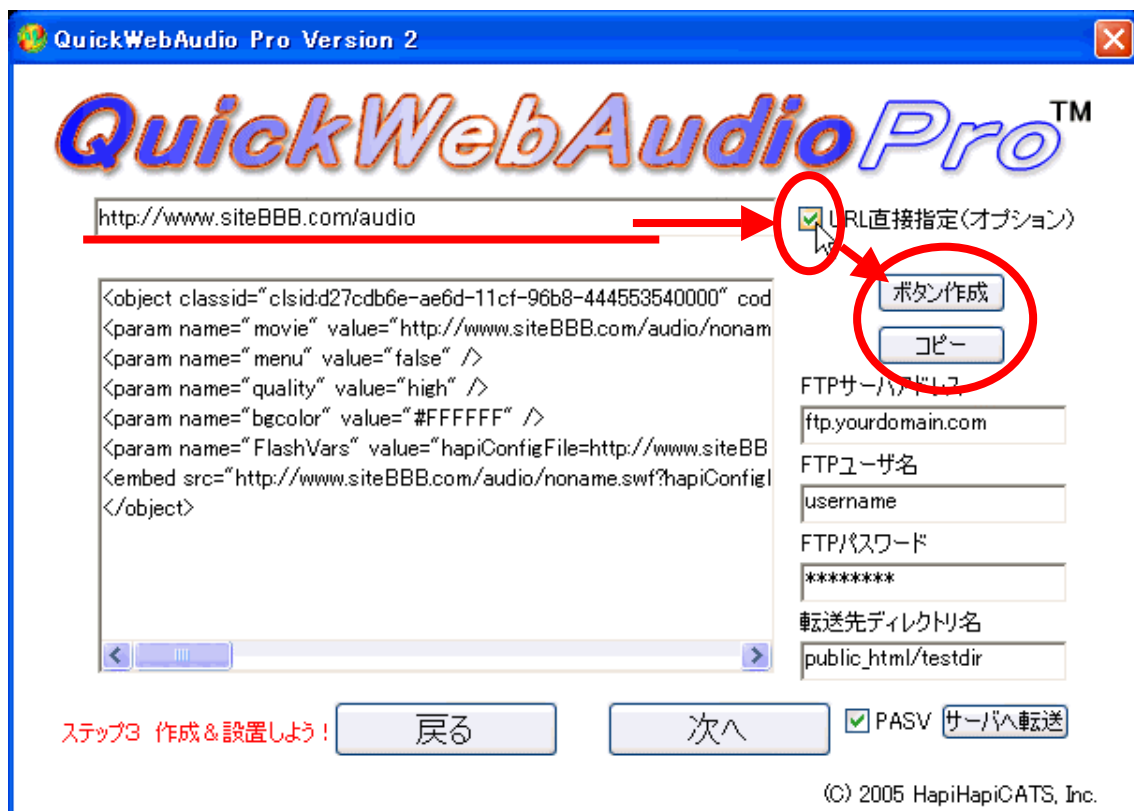


図 56

以上を設定してから、「3.4 ステップ3 作成&設置しよう!」の通常の方法で、「ボタン作成」や HTML コードの「コピー&貼り付け(ペースト)」等の作業を行います。

7.2. ブログでの利用例

ここでは、無料ブログサービスの一つである、Blogger(<http://www.blogger.com/>)を利用した例について、紹介します。

Blogger などのブログサービスで提供されている Web サーバには、オーディオ・ボタンを構成するファイルを置くことができません。そこで、オーディオ・ボタンを構成するファイルは、別に利用しているレンタルサーバに置くことにします。

ここでは、hapihapticats.jp というドメイン名で FTP(ファイル転送)接続できるサーバ上の quickweaudio フォルダ(ディレクトリ)にファイルを置くとして、このフォルダ(ディレクトリ)への URL は <http://hapihapticats.jp/quickweaudio> となるので、これを図 57のように「URL 直接指定」に設定します。



図 57

そして、「ボタン作成」した後、図 58のように、hapihapticats.jp サーバへオーディオ・ボタンを構成するファイルを転送します。



図 58

次に、Blogger で新規投稿画面を開き、投稿記事内に QuickWebAudio Pro の HTML コードを「コピー & 貼り付け(ペースト)」します(図 59)。

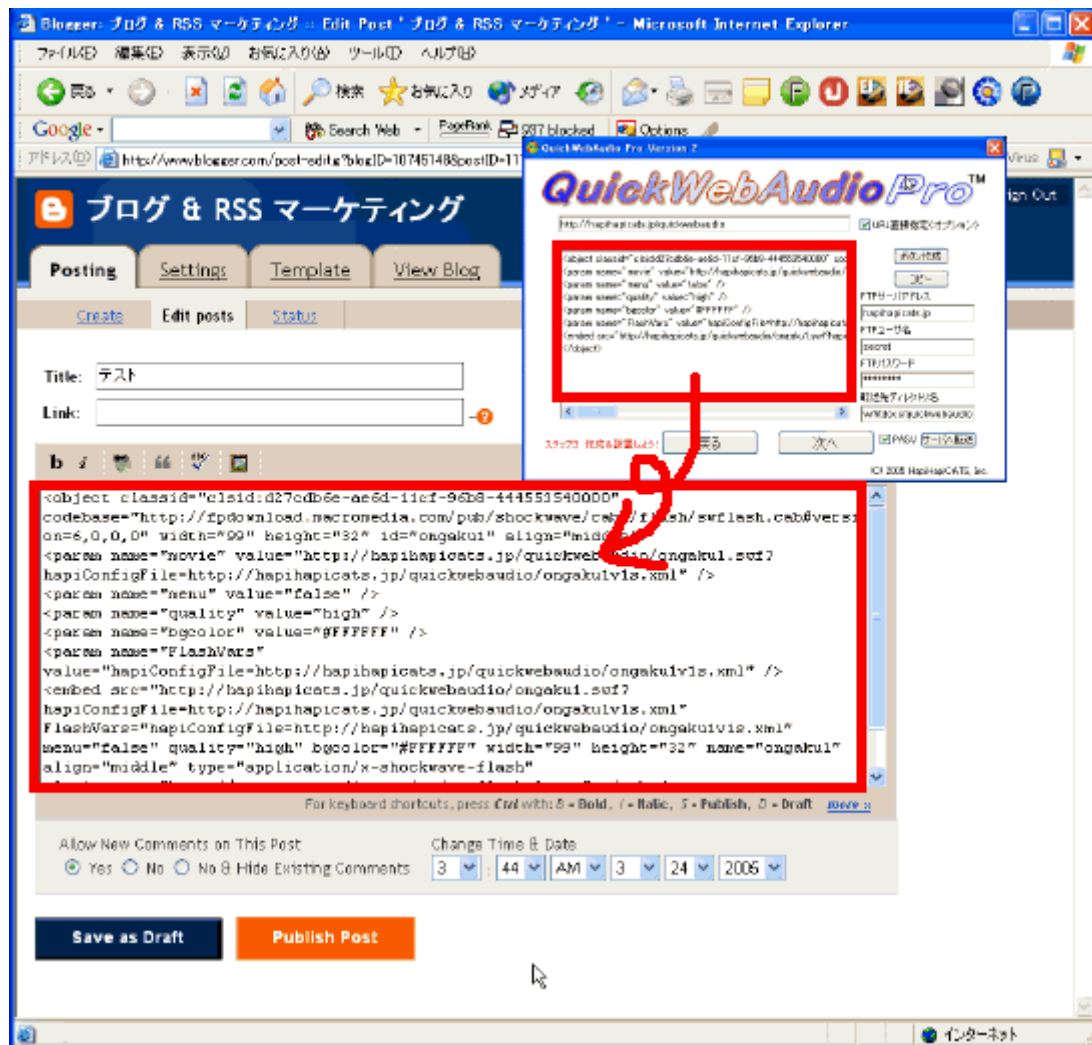


図 59

記事を投稿し、ブログを見てみると、図 60のようにオーディオ・ボタンが表示されていることが分かります。

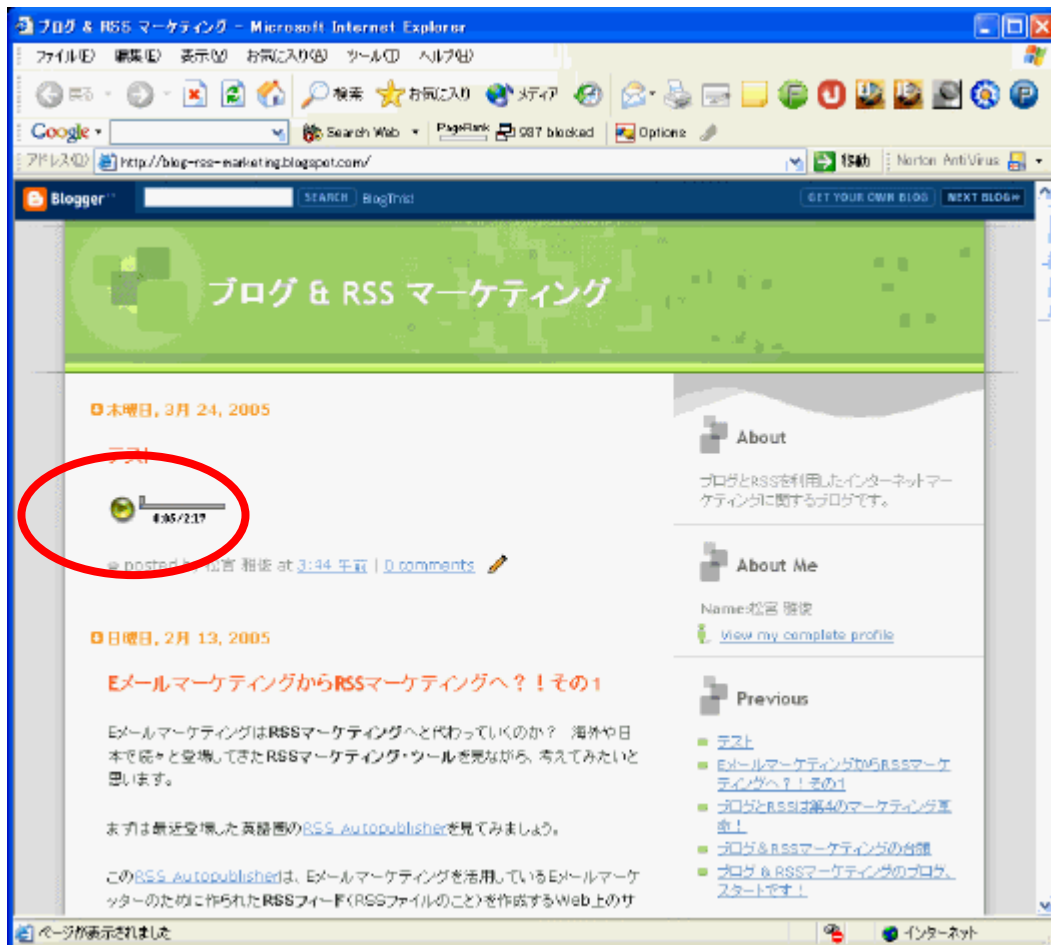


図 60

他にもアイデア次第で様々な利用方法が考えられます。ぜひ、QuickWebAudio Pro を活用して、あなたのサイトにオーディオ・パワーを付けてください！



HapiHapiCATS, Inc.
ハピハピキャッツ株式会社

<http://www.hapihapticats.com>

info@hapihapticats.com

ハピハピキャッツ・アフィリエイト・プログラム

あなたのサイトやメールマガジンで、ハピハピキャッツの商品をご紹介ください！ 紹介料をお支払いします！



eBook 出版でお金持ちになる！ホーム・スタディ・コース2005年版

世界中で多くの億万長者を生んでいる、
まったく新しい在宅・SOHO ワークのかたち
ーeBook(電子書籍)出版ビジネスーその成功の秘訣とは？
自分ひとりでも、資金、経験がゼロでも、文章を書くことが苦手でも、
1台のパソコンさえあれば、誰でもできる！
なぜ、あなたは自分で eBook を出版しないのですか？



本格的テスト&トラッキング・ツール AdTrackz

世界のインターネット・ビジネス成功者たちが
実践していること。
「テスト&トラッキング」
それは彼らを成功に導いたシステム作りの秘訣